

12. 4. 10

192 54

全従業員諸君に檄す!!!

他聲の首切りの時期も次第に近づいて来た。華業界の不景氣な今日工勢から逼迫された僱達に少し許りの手當が何の足しになるものか。失業は労働者の死を意味する。僱達は今日隠しされて首暗な水の淵に投げ込まれやうとしてゐるのだ。

兄弟よ！而も怪しからぬ事には他でも隠匿な當局者は再三再四の言明にも拘らず「官の意思に反する者」と云ふ秘された僱首條件に依つて組合の役員を強制的に僱首しやうとしてゐるさうだ。つまり當然の事を主張するやうな硬骨漢は片端から僱首されて阿附迎合して下級官吏の露の塵を拂ふやうなゴマすりばかりが残されるのだ。そして一萬の従業員を再び首のやうな奴隷の鎖頭で繋ぐうとしてゐるのだ。

兄弟よ！怪しからぬ事はそれだけではない。僱達の仲間はこの官意の横暴を助けて僱達の團結を第一に押さうとしてゐる。六よりも非道い人非人があるのだ。純向上會長八木信一君は先月二十日と二十三日に陸軍省の吉田兵器局長と會見して『向上會は過激派で私共の方は御用組合であります故に今度の僱首には向上會員を除外して下さい』と懇願してゐる。彼は更に隨後某官意を訪問して「今回の僱首がたとひ何んな方法でやら

れても私共の方は一言の苦情も申しません。若し廣内の秩序を亂すやうな者があれば私の方の會員の手で鎮壓致します」と申し入れたことは彼等一味の言明する處である。即ち彼は私共が保證しなすかウンと横暴をおやりなさいとすゝめてゐるのである。

兄弟よ！僱達にはまだ僱首手當の計算の基礎となす請負職工賃銀面上の要求がある。純向上會一派はそれをすら放棄して一途に官意の走狗たらんとしてゐるのだ。この行爲たるや、如何に四面楚歌孤立の境に陥つたればとて果して良心ある者とする事か。

労働運動者が労働階級を賣る事は労働階級最大の罪惡である！彼の同情者も、彼の擁護者もよく聞け！！彼は今や利益に目がくらんで労働階級を裏切り、僱達の必死の運動に致命的打撃を與へんとしてゐるのだ!!!

兄弟よ！今僱達の眼前には團頭黨と、奴隷の鎖頭と、労働組合の假面と覆つた團頭黨が出現したのだ！！僱達はモウ遠くとしてはおられない。要する兄弟よ！今度こそは本眞に決心の勝負を闘わなければならぬのだ!!

大正十二年三月十六日

東區島町一丁目四一 向上會本部

丁 穆

労働運動者

兄弟よ！

闘争

女工